

[dō:k]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F / Siege : Oden Building 21-4

Higashi Marunouchi Tsu JAPON

N° 45 juillet 1998 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

『パリ祭』'98 過去最高の参加者

J-M. マシュレさん ヴァイオリンの弾き語りで魅了



三重日仏協会1998年度総会と記念行事は、7月5日、津駅前のホテル・サンルート津で開催されました。まず総会では、本会としては初めてのフランス・リヨン市での交流事業を含む97年度事業報告と会計報告、および98年度の事業計画と予算計画を原案通り承認。続いてフランス人ゲスト5人と会場が自由な議論を交わす『記念フォーラムⅡ』が行われました（P2～3に詳報）。さらに会場を変えて、一週間あまり早い『キャトルズ・

ジュイエ』のパーティーに入り、今年は過去最高の約80人の参加者で盛り上がりました。今回は夫人の清水みどりさんが河芸町出身という、フランス人ヴァイオリニストでシャンソン歌手のジャン＝ミシェル・マシュレさん（東京で活躍中）に特に出演をお願いしましたが、さすが本場パリのオリムピア劇場や、セヌ河の遊覧船〈バトウ・パリジアン〉のレストランなどで演奏活動を続けていたエンタテイナーだけに、珍しいヴァイオリンの「弾き語り」は一曲目から聴衆を魅了、協会の『パリ祭』としてはかつてなかった華やいだ雰囲気となりました。そのあとは各チームに分かれて恒例のビンゴゲームを楽しみましたが、この夏世界の関心を集めたワールド・カップ・サッカーをテーマとした問題が出され、優勝チームからは大きな歓声が湧いていました。

年会費納入のお願い

1997年度会計では会費収入が予算に及ばず、健全な財政運営に困難が生じていますので、今年度はぜひとも改善が期待されます。1998年度会費未納の方は、恐れ入りますがお早めに同封の振込用紙で 3,000円 お振り込みいただくようお願いします。

記念フォーラムⅡ

和気あいあいの話し合い



一面でご紹介したように7月5日の総会のあと、昨年が続く「記念フォーラムⅡ」が開催され、上の写真で左から、おなじみのJ-F. ダメムさん、リヨン大学院研修生サビーヌ・クーリさん(四日市)、一人おいて奈良県国際課A. カツパドロさん、リヨン大学院研修生ソフィ・ドゥリュデさん(四日市)、同じくC. パラキアンさん(大阪)の5人のフランス人が、写真中央の仲井英昭さんの司会・通訳のもと、「自由に語る」をテーマに大いにお話しいただきました。約40人の参加者のなかからはフランス語、日本語で質問や意見が次々と出され、終始なごやかに日仏理解を深めました。

以下、出された主な話題や質問とフランス人側の発言をご紹介します。発言者のお名前は省略させていただきます。

フランスと日本の、カフェ=喫茶店文化の違いについて

- フランスのカフェは世界でも特別なところ。イギリス、オーストリアでも暮らしたことがあるが、だいぶ違う。コミュニケーションの場所、時間を過ごす場所。一杯のお茶で3時間もねばっても普通です。
 - 日本の喫茶店はだいたい新しく、経営者が変わったり改装したり。フランスでは古い歴史のある店が多い。私がよく通ったモンマルトルのカフェは戦前の昔からあり、親子代々継いでいます。
- ワールド・サッカーの話題。日本チームは弱い？ チケット入手をめぐるトラブルについて。
- 負けたのは初めての出場で仕方がない。アルゼンチンに一点差は大健闘と思う。でも最後の試合(対ジャマイカ)はちょっと……
 - チケット騒ぎ以後、私がフランス人であることだけで非難されているような空気があって、よくわからないが責任を感じてしまう。でも次の日韓共同開催のためにはよい教訓になったのではないか。
 - どこにもお金を求めて悪いことを考える人(企業)がいるので、こうしたトラブルは避けたい面がある。フランスは個人としても国としても、この件では責任はない。

フランスの女性は、顔も体もどうしてそんなにキレイなの？(お父さんといつしよに参加した可愛い小学生少女の質問)

- たしかに顔つき、肌の色、体型もちがうが、「美しい」かどうかは別の問題だと思う。
- 日本人の女性は美しい！ 私の奥さんも日本人。心配ありません。

フランス女性が日本に住んで見て、日本の男性はどうですか？ 特にイヤな面を遠慮なく……

- 若い人は概して女っぽい。かわいい感じだが、ヨーロッパへ行ってどうだろう。
- フランスで、ゲイ（同性愛）の男性の知人がいたが、彼らは独特のスタイルやマナーですぐ見わけがついたのに、日本へ来たたら、みんな「それもの」に見えるくらい。
- 日本の男性は外国に比べて女性の体にふれる機会が少ないせいか、（特に中年の人は）どうも「触りたがる」傾向が強いようだ。

（発言者にリヨンの女性が3人いたことからの質問）リオンはどんなところですか？

- リヨンの人は「排他的だ」と言われることもあるが、深くつきあえばいい人たちだ。
- 私たちはほかの地域からリヨンの大学にきたのだが、リオンは落ち着いた古い町で、海（地中海）も山（アルプス）も近く、すばらしい。何より食べ物やワインがおいしいので有名。
- アシェットが出している〈AVEC PLAISIR〉というフランス語のテキストにリヨンのことが詳しく出ているので、勉強してはいかが。

フランスからのお客さんをもてなすのに、京都、築地の魚市場などを案内して喜ばれているが、ほかにはどこがいいだろうか？ 伊勢神宮は説明が難しいし、真珠島は奥さんは喜んでご主人が大変だ。

- カラオケはどうですか。
- 広島がいいと思う。私は強い印象を受けた。
- 広島、長崎のことはフランスでもみんな学校で学んでおり、ぜひ行ってほしい。（「シラクさんも行ってほしい」のヤジあり）

桑名高校で『フランス展』

図書館主催で、多彩な展示・映画・座談会など

県立・桑名高校の図書館では昨年、生徒が身近な話題をきっかけにして国際的な視野を広げていくことを目的に、研究発表活動をおこなっていますが、今年は『日本におけるフランス年』やワールド・カップ・サッカーなどでフランスへの関心が高まっていることから、6月下旬、フランス展〈Bonjour La France〉を開催しました。担当教諭の指導のもと、約40人の部員が手分けして精力的に取り組み、展示の部門では、文学・美術・歴史・観光・スポーツ・料理・EU統合問題など、あらゆる分野の資料二百数十点が整理、工夫されて展示、全校生徒のほか外部から見に来る人もあったとか。また「禁じられた遊び」「ギャルソン」などフランス映画の名作4本の鑑賞会もおこなわれ好評でした。

協力を要請された三重日仏協会からも、手持ちの資料を貸し出したほか、かつてフランスで暮らした経験のある桑名市在住の会員・藤田典子さんが座談会に出席、フランスの生活やフランス語について語り、生徒たちの質問に答えました。ひとつの高校でのこのような催しは珍しく画期的で、各新聞の地方版で大きく取り上げられていました。



5/1 日仏地域間交流促進兵庫会議

『日本におけるフランス年』を機に、日本とフランスの地域間、都市間の交流の意義と必要性をひろく内外にアピールすることを目的に、表記の会議が5月1日、神戸市の神戸国際会議場で開催され、三重日仏協会からも2名が参加しました。午前10時開会、あいさつ等が続いて、パリ日本文化会館長の磯村尚徳氏が記念講演し、最近の日仏関係、とくにフランス人の日本文化に対する関心の高まりなどを概観したうえで、「140年に及ぶ日本とフランスの関係は現在が最高の段階にある」と述べました。続いてパネル・ディスカッションに入り、五百旗頭真・神戸大学教授をコーディネーターにジャック・ラプージュ駐日フランス公使や、竹内佐和子・東京大学助教授らが「地域からの日仏交流をどうすすめるか」のテーマで討論しました。

午後は第二部として交流会議がもたれ、フランス側からセヌ・エ・マルヌ県バンデレスト市長ピエール・ムテイ氏ら、日本側からは全国でなんらかの日仏交流を行っている自治体関係者と日仏協会関係者らが集い、長時間にわたって地域における日仏交流活動の問題点について討議をおこないました。

5/10 四日市で「日仏茶会」 鶴の森公園内・泗翠庵

本会員や関係者のなかで、茶道に堪能な方たちが中心となり、四日市市国際交流協会の協力で開催された「日仏茶会」は、アリアンス・フランセーズ名古屋のドミニク・フォッサール学長夫妻をはじめ、8人のフランス人のお客様を迎えて盛大なものとなりました。正座での足の痛みをこらえつつも、「初めて茶の湯について知ることができ、日本文化の奥の深さに感動した」「このような交流をぜひもっと続けてほしい」などと、参加のフランス人たちは称賛を惜しみませんでした。



お点前を見つめる

この秋のコンサート（関係分）

◆10/2（金） ラヴェル弦楽四重奏団演奏会

三重県文化会館中ホール

同会館の主催、三重日仏協会の後援で、本会とは関係の深いラヴェル弦楽四重奏団が初めて津市で演奏会を開きます。時間、曲目など詳細は同封のチラシをご覧ください。

本会会員およびその関係者は、とくに割引料金 S席 1,800円で前売券をおわけしますので、お誘い合わせてぜひお聴きください。▶申し込みは事務局・井土（059-226-2766）、滝沢（059-225-2517）まで。

同弦楽四重奏団 三重県内の公演スケジュール

9/26（土）19:00 青山町・青山ホール 一般前売り3,000円

特別出演 ピアノ 山田佐和子 シューマン ピアノ五重奏曲ほか（後援事業）

9/27（日）19:00 熊野市・熊野市民会館

伊賀、紀州方面の方は、こちらでのご鑑賞をおすすめします。

◆10/7（水） 菅原美枝子ピアノ・リサイタル

（後援事業）

19:00 津・お城ホール 3,000円

ショパンの練習曲、マズルカ、ベートーヴェン「32の変奏曲」ほか演奏予定

◆11/26（木）『郷土出身音楽家シリーズⅠ』伊藤隆之ピアノ・リサイタル

三重県文化会館